

母犬

小川未明

青空文庫

どこから、追われてきたのか、あまり大きくない雌犬がありました。全身の毛が黒く、顔だけが白くて、きつねかざるに似て、形は、かわいげがないというよりは、なんか気味悪い気がしたのであります。だから子供たちは、この犬を見ると、石を拾って投げつけたり、なにもしないのに、追いかけてりしました。犬はますますおどおどとして、人の顔を見れば逃げるようになりました。

パスやポチは、みんなからかわいがられているのに、なぜ、この犬だけ、みんなからきられるのだろうか、敏ちゃんは、ふと、犬を見たときに考えたのでした。自分だって、このあわれな犬をいじめたことがあるのですが、考えると、わるいことをしたような気がしたのでした。

「こんどから、僕は、もう、あの犬をいじめないことにしよう。」と、敏ちゃんは、思いました。

ところが、偶然にも、ある日、敏ちゃんのうちのお勝手もとへ、その顔だけ白い犬がやってきてのぞきました。よほど、おなががすいていたとみえて、なにかたべるものをさがしていることがわかりました。

「まあ、なんて、気味のわるい犬でしょう。」と、女中がいつて、水をかけようとしたのを敏ちゃんはやめさせました。そして、

「まっでおいで！」と、犬に向かつていいながら、奥へ入って、昨夜、食べ残してあったパンを持つてきました。

パンは、もう堅くなっていました。このおなかのすいた犬にとっては、どんなにかおいしいごちそうであったでしょう。犬は、敏ちゃんの、しんせつにいつてくれた言葉がわかつたようにじつとして、待つていました。

「さあ。」と、いつて、敏ちゃんはパンの一切れを犬に投げてやりました。

犬は、喜んで食べると思いのほか、それを口にくわえると、あわただしく、逃げていつてしまいました。

「それごらんさい、坊ちゃん、まあ、なんて、にくらしい犬でしょう？」と、女中は、あきれました。

「ほんとうに、やな犬だね。」と、敏ちゃんもあんな犬に、なにもやらなければよかつた、ああいう犬だから、みんなに、いじめられてもしかたがないのだという考えが起こつたのであります。

「もう、きたつて、なんにもやるものか。」と、敏ちゃんはいいました。

ある日、敏ちゃんは、学校から帰りに、この犬が、やはりなにかくわえて、わきめもふらずに原っぱをかけて、あちらのすぎ林の中へゆくのを見ました。

「どこへゆくのだろうか。」と、敏ちゃんは、思いました。

このとき、林の中から、ワン、ワンという、犬のなき声がきこえてきました。敏ちゃんは、きつと犬どうしのけんかが起こつたのだらうと思いましたが、すぐいつてみる気になつてかけ出しました。そして、林に近づくと、そつと中のような音がいました。

すると、どうでしょう、そこには二匹の小犬がいて、いま母犬のもつてきてくれた、魚の骨を争いながら、小さな尾をぴちぴちとふつて喜んでたべているのでした。

「あ、わかつた！ このあいだのパンも、自分がたべずに、小犬のところへ持つていったのだ。」と、敏ちゃんは知りました。

母犬は、自分がたべずに、子供のたべるのを見て、さも満足しているようでしたが、この間にも、たえず、林の外の方へ気をくばつて、もしや、どこからか敵がおそつてきはないかと、注意を怠りませんでした。

敏ちゃんは、これを見て、母犬の子供に対するやさしい愛情は、人間のお母さ

んが、子供に對するのと、すこしも變わりのないのに、ひどく感心しました。

敏ちゃんは、この平和な犬たちをおどろかしてはならないと、そつと、その林からはなれました。

それから、敏ちゃんは、この黒犬を心から愛するようになりました。ほかの子供らが、この犬を見て石を投げようとすると、敏ちゃんはやめさせました。

「君、この犬は感心なんだよ。」と、自分の見たことを、話しました。これをきくと、ほかの子供たちも、

「りこうな、いい犬だね。」と、感心しました。

もう、子供たちは、この犬をいじめなくなりました。敏ちゃんの家の女中も敏ちゃんから話をきいて、感心して、その後、ペスやポチにやらなくても、魚の骨などを、この宿無しの、かわいそうな犬のくるまでとっておいてやりました。

「子供があつて、どんなにおなか、すぐでしよう。」と、女中は、同情しました。

青空文庫情報

底本：「定本小川未明童話全集 10」講談社

1977（昭和52）年8月10日第1刷

1983（昭和58）年1月19日第6刷

※表題は底本では、「母犬《ははいぬ》」となっています。

入力：特定非営利活動法人はるかぜ

校正：酒井裕二

2015年5月24日作成

青空文庫作成ファイル：

このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫 (<http://www.aozora.gr.jp/>) で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。

母犬

小川未明

2020年 7月18日 初版

奥付

発行 青空文庫

URL <http://www.aozora.gr.jp/>

E-Mail info@aozora.gr.jp

作成 青空ヘルパー 赤鬼@BFSU

URL <http://aozora.xisang.top/>

BiliBili <https://space.bilibili.com/10060483>

Special Thanks

青空文庫 威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー <http://aohelp.club/>
※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。
<http://tokimi.sylphid.jp/>